

ゆっくり芽をだせ 萬歳っ子

旭市立萬歳小学校
学校だより No.6
平成 29 年6月8日

いよいよ関東地方も梅雨入り

いよいよ関東地方も梅雨入りをしました。これからのおよそ1ヶ月間は、雨雲の下、傘を手放せない日が続く、気持ちも少し湿りがちです。しかし、この長い雨は私たちの暮らしにとって欠かすことのできない恵みの雨でもあります。稲をはじめとする作物を大きく育て、生命の糧となる飲料水をもたらしてくれます。

思えば、空を彩る雨上がりの虹も、雨に濡れて色を変える紫陽花も、梅雨時ならではの美しい風景です。

その時々を味わいながら、この長い雨の季節を、少しでも楽しい気持ちで乗り越えたいものです。



梅雨時の交通安全

雨の季節になるともう一つ心配になるのは雨の日の交通安全。交通事故の危険性は晴天時より高くなります。発生率で10%ほど上昇するというデータもあるようです。

その理由は……

運転者にとっては、ワイパーで雨水を払いきれない箇所がフロントガラスにできたり、雨が強いと視界が悪くなったりするために、道路を横断しようとする歩行者や路肩にいる歩行者を発見しにくくなります

歩行者にとって雨天時はどういう行動をとりがちになるのかを整理すると次になります。

雨が降り始めると…

歩行者は雨を避けようと足早になり、周囲を見ずに行動する危険性が高くなります。

雨が本降りになると…

歩行者は水溜りが気になり下を向いて進むことがあり、車両に気が付かなくなりがちです。

風が出てきて雨が強くなると…

歩行者は雨の音で車の近づく音も聞こえにくくなり、雨が差し込む方向に傘を向けることに注意が向いてしまい、車両に気が付かない危険性が高まります。



学校としても次の点に特に重点をおいて、安全指導をさせていただきます。

- 1 傘をさして歩いている場合、道路に出るときや道路を渡るときが特に危険であること。
雨の日の横断時は、傘を目の上まで持ち上げ、目と耳で安全を十分確かめること。
- 2 雨天時はなるべく両手を使えるようにし、傘をしっかり持つようにすること。
傘の柄をしっかり握って歩くこと。自動車とすれ違うときには特に注意する。
- 3 集団での登下校時は道路の右側を車両に気を配りながら一列で歩くこと。

保護者の皆様におかれましては、「道路を渡るときは左右をしっかり見てね。」などの言葉を「いってらっしゃい」に添えて送りだしていただけますようお願いいたします。

地域の皆様におかれましては児童の安全な登下校に、見守り・ご指導等、今後も引き続きお力添えをいただけますようお願いいたします。

澄み渡る夏空の下、萬歳小学校春季大運動会が行われました。早朝よりたくさんの皆さまにご来校いただき、児童に励ましをいただき、また競技に参加していただき、素晴らしい運動会ができました。またPTA役員の皆さまには準備・児童の係活動補助・後片付けと多方面からお力添えをいただきました。おかげさまで児童は競技や係活動に集中して取り組むことができ、持てる以上の力を出し切ることができたようです。1年生から6年生まで、一人一人が一回りも二回りも大きく見えた一日でした。ありがとうございました。



親子で楽しく踊った旭音頭。6年生のリードが光ります。



保護者の皆様がお手玉を上手にキャッチしてくれました。



全校が一つになった元気いっぱいの応援合戦



息を切らして全力で走った追いかけ玉入れ



勝負の行方が最後までわからないまま迎えた、最終種目の紅白リレー。

リレーは激戦の末に紅組が制したものの、5点の僅差で白組に優勝の栄冠が輝きました。

「学校便り」は萬歳小学校ホームページにも掲載しております。写真等もカラーでご覧いただけます。

ぜひご利用下さい。 ⇒ <http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-manzai/> または「旭市立萬歳小学校」で検索